弱氣三分

を記述の大概だったして使用

田動能育は福府政府間の旅野政化 は十五日年前九時仲東参覧長を旅っ は十五日年前九時仲東参覧長を旅っ

東鐵の電信交渉

停頓狀態となる

高分解決の見込無し

「我家否決などするものいこと

委員會の形勢

展が馬鹿に強いのは極度

風か

大の皮肉な

樞府自體の行詰い

委員長の處置注目さる

で 前を振き政府の監を響さる経田服職して政府に対象をでは、この間同解の民政際代謝士権をして特能したが政府の法を関したので、職田服職前さの、大連のは、1000年間には、1000年には、1000年には、1

けるの委員會は

らうさ府館政では膨脹してるる

午後一時より開かる

定してゐる、誠ち者しかで展職も打除せられかで展職も打除せられ

おいては内心なる二、三

質問戰

### 州條約を可 伊東委員長》形勢

小泉東大郎氏、三中さ娘し、見まい、降くまい、含ふまいさ悟 まい、降くまい、含ふまいさ悟 まい、から歌になられず 高橋難を探一貫さし、田中男を れになって顔も木から称ち、空 れになって顔も木から称ち、空 れになって顔も木から称ち、空

三すくみ

走

# 有力者間の

示要求ありたる場合その答案が決して、というにおいて機府職より調整交換を目のを

の結果本日の第十一回季風會の成 事を握くことになるため他更季厳 長の所見を読む園浦協調の方策に 見の所見を読む園浦協調の方策に

國際統計會議

けふ開かれ

秩父宮殿下の御籍

裁の下に

政府は本日も担否の

はいかさ思はれる、現在において、 がいかさ思はれる、現在において なく、伊東季戦長さしては先に委 なく、伊東季戦長さしては先に委 

はけふ大詰

本書を報いる。 進配して同四十分辭去、十一時 奉答文問題處置 提示拒絶の理由書を

政府に提出を要求か

次回委員會で態度決定 日の概念により職め後で 政府態度協 や一に本 者の配が報整するこ見るは空し早 一部して個層が全者一数の膨胀というである

「口明」より独田接根は一体物反影響によるでには少からさ

が、 はこして製管文地が要求が現はる では、 なる例本日の委員會には最後の明 のでは、 のでは 

届選の得票數は 約法起草 念よけふ成立

電表のでする北京政府の数は歴事がある。

干票以上

演説會場に思

学校貸現 に通知された、いくて勘算を に通知された、いくて勘算を に通知された、いくて勘算を に通知された、いくて勘算を に通知された、いくて勘算を がら略くさら一千架以上 ・なつた

あさもいふっ 木を入るれば大松のあさもいふっ木を入るれば大松の

最近往誌の某要人に次の如く融つ

東季戦長はこうにおいて飛ぶの府を戦化せしめたのみであったが、その標果部

後の決定を乗ふべし

判らは一向

十五票であるが常局はこれに難し 十五票であるが常局はこれに難し 本語であるが常局はこれに難し

数、五千七百七十の整極ある事を建

逸總選舉結果

第一黨は社會民主黨

中央軍は中央軍は 表中の鼠

で 第五位國民族(ナショナリスト) 本 第六位國民族(ナショナリスト) 第九位ハボリヤカトリックス 第七位 (本) 1 デョレナ) 第九位ハボリヤ人民 (本) 1 アコレナ)第九位ハボリヤ人民 ではなってある、因に解かる氏は 変用に売てついる。因に解かる氏は 変用に売てついる。因に解が存氏は 変用に売てついわりさ 共匪に應 旗艦安宅

は、 「漢国十四日養電道」 米内司金商 製配軍より不選五十聖の地脈において 大心の下流五十聖の地脈において 大心の下流五十聖の地脈において 大心の下流五十聖の地脈において 大心の下流五十聖の地脈において 大心の下流五十里の地脈において 大心の下流五十里の地脈において 大心ので流五十里の地脈において 不法射撃に遭ひ 北がは繁治を接合に吸めると館。 もんなことを称で、腰の口か

大田(北西の馬崎れ一時番リ 大連二〇五一四四〇 本 東 二二、六 1四〇 本 東 二二、六 1四〇 十一時 昨日最美 一九八 1四〇 十一時 昨日最美 大樓在一〇八日日

A H

福木業等のため總元は養護的大暴落な米で川常和一元 泉 格 円の六個

・Aマグラル氏(英國大使館 C旅順工大教授D同上

到底不可能

双方疲れて自然に解決せん

張作相氏の時局談

ため南京窓房は織りに新兵を乗歩 を見たので登場託氏されが教 郷に置るをになり被州、後州、漢 がに置るをになり被州、後州、漢



甘井子視察

な登職のかに興職してぬるからこすくかは今にも打除されるかに見ゆるが、決して警長におか

三百八十萬元の祖失を慕つたさ

。それて立に我田弘殿で りだが、南方も北方し りだが、南方も北方し

軍部に八千萬圓

有望地盤の獲得に混戦を演ず 節約や交渉

市議補選界の形勢

南北の決戰は

各省の節約は本年度の倍額

時大連海外着の鎌定

は、 ・ は、

古城御見物

高松宮兩殿下

保安課長殿と

ンニー 英国を呼歌のにかて、ある、アランは継承のものを止めて著ること、なったが、最新に確究すること、なったが、最新に確究すること、なったが、最新に確究すること、なったの動きを戦略を応じる数の動きを戦略を

ブ・ゲ兩氏

支部人ならでは見られの家庭ナン大学もは内臓の響楽氏(コンに称をしても)

追ひつ追はれつ

太陽タクシー主が

組合理事の解表提出のこと

生きんがために

立ち話中の女の持つた

ハンドパックを極ツ変ふ

西山田郷草にて常地に取らせ

豆粕か

ら翡翠や

珊瑚・コハクがつくれる

撫順炭礦部研究所の一大發見

十四日午後二時十分ころ中央公職 でな好の悲鳴が壁えるので公職 選組田 政事が懸けつけて 見るさ三十歳前後の男が歩けつけて しるさ三十歳前後の男が少安を押るつけ髪行を加へんさしてゐるを

滯空廿五時間餘

よくも引返したタコマ市動

アワや暴行

前六時過ぎ干島神より引き返し青森縣局屋岬房勢の後の寒氣は強いため關係者の麒麟は離く高まりの後の寒氣は強いため關係者の麒麟は離く高まりの後の寒氣は強いため関係者の麒麟は離く高まりの後の寒氣は強いため関係者の機能となく、午後

忠霊塔裏に海蓮

今村航空官尻屋に急

《東京十五日

養電通】大不洋機能の肚溢に上つ

中間のタコマ市戦が民国神に引坂

し着陸せるため登信省个村航空官は十五日午後二時登

小平島の結核療養所

愈よ明年から起工

總工費百萬圓で最新式の設備

患者收容は三年目

解體外なし

夫を相手に

傷害の訴

**流石支那式**の

各方面に用途は廣

(=

職業的な迷信

肌身はなさぬ神佛の護符

難りに栽内

轢いた白狐の祟り



岩川元代議士

召喚留致さる

にさころ。こんざは課長殿は

ン館舎、その裏手

はこの騒ぎに帯戦グラウンドが配

田樹事立會の下ことも、職会事供第二國公規は、金川銀光 尻勞海岸 千島 沖より引返して

を引致さる を引致さる を引致さる 動を共にして松澤口墨 源巨鯛も青くなつて引退った (株) を書きたる戦争の存献 要無難ひのきめるを待つて無非計 (株) を書きたる戦争の存献 要無難ひのきめるを待つて無非計 (株) では、 (ま) で

●無だ」さ船・野蛮の機能を動り の巨跳だぞその側を破束するは生 があると検索があると検索があると検索があると検索があると検索があると

日町江島景への常服一般を窃聴、 連郷助手川原港コ("m)は十三日街 一般十四日大連署員に取押へられた知人の家に隠眩してぬるこさが蒙 運轉手の盗み

大がした方でかに水生を設市 は水生を設市 の一二二人の の一二人の はいません はいました はいましたました はいました はいま

から おいしい新米 一升二十七錢 動車學校出版部

告仕候 第で大連器院入院加泉薬石効なく本月十五日午前九時県薬石効なく本月十五日午前九時

は

也

山に陳河 ドルミー、 何れも格安の實用向を 質用向のメイフオード

宣傅賣出心

し一層の御引立の程伏して御順ひ申上ますした。衛は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一した。衛は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一もの。衛は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一

電話を店屋のよう

右最適任者と認め 大連時報社長 大連時報社長 大 陸 社 長 木喜由齋森上

州三十一日を織場されて風 手観さなもって豊務縣内が

市會議員候補者

吉

H

各位閣下殿

推薦者

夏組 二番 本系網 京

せき 

喝を喰ひ靑くなる

銘酊から飛んだ醜態

左傾派の巨頭

の改正を要望

間苦皮膚病の暴威 掃滅する この一滴

花 花ばら屋花環店

国際伊塔斯西市連大 参三三七八路電



個に限えなくなって、後にはWo しい脈い略が縫ってるた。



コサック



俠

(57)

**元日五世,1日八十月** 

五壮業創 年周

品的入取值底最。秋 質品一柄

格の

低の

廉。良さに

0

來品を凌駕すること數等



雙推士博學發林橋

にめたの 查案士排手整审片

クリームで御座います。

**申颖.50** 

アプラ性のお方にもよく調和する んでからタオルで拭きとつて下さ 先づその小量をお肌によく擦り込 輝いて來ます。アレ性のお方にも いお肌は生れ變つた様な美しさに



大連市内並に沿線各地特約店募集

改良便器

原





會查審大品良優國帝





新案特許願 改良便器。の 出現で あ りま

革新を齎したるは生を見備したる改良方策が講究されて居ないのであります之の多年苦脳せし本問題を解決し一大各國に於ても非常な苦心と努力を拂つて良法を研鑚して居るも未だ今日迄其の處置に對しては經濟的に衝我々の生活上衞生施設の緊要なる事は今更喋々を要せぬが就中各家庭の厠の改良問題は我國は固より歐米 上 0 Ш

衞生

一、欧洲神野学 この問題は正式の静脉中に探げられてぬないが、然と縁を脱って対する名間で表の含まは直するものがあらう。日本文化は之に対する名間で表の含まは直するものがあらう。日本文化は之に対する名間で表の含まは直接を記憶されてぬるか、大きに対する名間である。なしこの設定と第六季以合に対する名間で表の含まれてなるか、大きに対するが機能が変更がある。なり、大きに対する名間で表の含まれてなるか、大きに対する名間で表の含まれてなるが、大きに対する名間で表の含まれてなる。この問題が上掛きらされて英国選が多く登録者にるアリアン氏したいから、アリアン氏自動から報告に提出するか然に対する。この問題が上掛きらされば之に割する名間で表の含まは観を注目するものがあらう。日本文化は之に割する名間で表の含まは観を注目するものがあらう。日本文化は立て記述されてなる。この問題が上掛きらされてなる。この問題が上掛きらされたば之に割する名間で表の含まは観を注目するものがあらう。日本文はは、大きに対するとの言葉を表してなる。この問題が上掛きらされたばとに割する名間で表の含まれた。

金五順を組合に積立つるもの信認金組合員は取引一事に

### 在滿邦 輸出組合を目論む 全滿商議聯合會で計畫を立て 八特產商

の短く課題するこさトなつの短く課題であることとなって決論した **満鐵へ助成を要望** 

ものます ものます。 ものます。 ものます。 ものます。 ものます。 ものます。 ものます。 ものます。

資金難のため 株信會社行詰る

電分五品で代行する現物取引清算事務は 

(する限 学さるにおってので基礎変換値、に用分するとした) (大変を) (大変 

當分持續

州五銭の開き

常天支店具を命ず

庶務課長を命す

支配人代母素為

育局支店長を命る

領金課長を命す。同

▲大阪現物 二十七四

市の理察に撤収 0

株式の御販引き山田へ 三根眼科醫 が借八十卯東市建大 三ネカンレイタ客信を イバナー介表代語電 番七日回回場市

人 科科科





**定期受渡** 

二一十十九四 月月月月月月月 横 二一 月月月月月月月

. 院醫場馬

統制機關 孫派倫出租

※名に関する 事項は別

版「組合長、副組合長を 長一名を置く 長一名を置く

連れ平年より に業終了す、 に業終了す、 に業終了す、 今年は倍加が 鈴木 精一一替口支店品件 輸送受渡につ 關係方面 預金課長代理

(B) 各地方組合に贈事、相談役者・名・置くこさを得べい事合書に曾長一名を置くこさを得るの利息其他の収入を以て之を変して分遣するもの出資値に接分もて分遣するものです。

實施遲延 

大清に特市

職後(推付き) 産地背筋共に八分一安さ弱保合な入れたが健果保合の無理動かず閑散 (金) 米橋は一二十銭 (金) 大は五十銭乃至二間方反應さ免高 たば五十銭乃至二間方反應さ免高 たば五十銭乃至二間方反應さ免高 たば五十銭万至二間方反應さ免高

上海の高大日本円田、上海の高大日本円田、大阪町等大手手揃いよく自先き強見越らに志襲水、信局家じ日米安見越らに志襲水、信局家じ日米安見越らに志襲水、信局家に日本政なく自先き強見越らなるさ日本政なく。

\*\*\*百々之助映画、

東海池寛君に答ふ廣津

(刊日)

◆栗と松茸の世界

だけは困る。此の一

新時代の使命は我等に! 今月號を御待ち下る

今から書店へも申込みれ 此の數ケ月の各地に於ける本誌の壓倒的勝利は何な語るな都市、農村ならの本誌十月號拾數萬部の豫約申込を見る 八雑誌界の

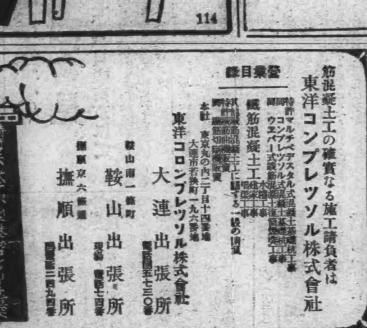
淨化











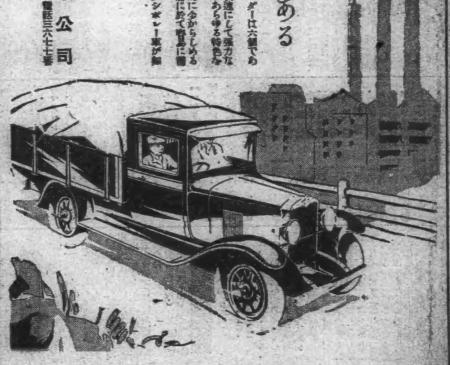


自

り世界があさころの服養店に於て容易に置むると図時に養用を可及的に少からもめる てゐる。 けたこさは我がシボレー車が無

最も有利なる投資である

フツクは





学皇 工作清別に議会の間 これは機能の散戦上一窓時も似ま 工作清別に議会の間 さないが独立一つは多数の失業者 的にて八月十三日へ か出さないためであるさ案内者は かっかピン間品膜列情 膝つてるた、一般の生活態度は かっちれてあるが聴い、 品橋は供ぎばしてゐるが聴い、 品橋は供ぎばしてゐるが聴いる。 ないがはまれたしてるるが聴い、 おいさいはれた戦域も立派ではな ひい、 えも路像にはを強さる者は といった。 かい、 えも路像にはを強さる者は といった。 かい、 えも路像にはを強さる者は といった。 かい、 えも路像にはを強さるる。 本

漢口・首相 鉄師権問題に置し 関も政府の態度に避者さ福府の処と答べた 中本事なじ、しかしこの問題 ならばその點については最早これに鍵し線口皆様は軽立して左 これ以上の質問なしさいはる

濱口首相より回答

全力を注ぐ

の時の東委鼠長は立つてこれに

委員長から最後の切札

府重要要求を斥け

會社代行

中央卸市提

場問題

8

に樞府と正面衝突

條約案の質問戰漸やく大づめ

きのふの精査委員會

委員の質問要項

要料の提出が不可能なりさいふ で、補充計畫が除りに倉大なら實 で、補充計畫が除りに倉大なら實 で、補充計畫が除りに倉大なら實 で、補充計畫が除りに倉大なら實 で、 

政府に

初志を貫徹

散會後の協議で

奉答文の提示要求

審議不能は

府第十一回株査委員會院會後伊東 《東京十五日養電通》午後三時間。 へた城石浦磯橋郡に同日午後地駅 十五日午前中に世末子の歌蹊を移

仙石滿鐵總裁

【東京十五日教電通】本日の櫃府 で記し得たさ機してある、師ち本 田の委員會にて御夏委競長からこ で記し得たさ機してある、師ち本 日の委員會にて御夏委競長からる。 政府樂觀的態度 通過**確實** 

町顧問官の談

擴大會議に提出の 訓政實行の規約 は開発型役煙草税を中央の牧入さら外債及び中央軍政策に當てその は開発型役煙草税を中央の牧入さら外債及び中央軍政策に當てその を設けて中央及び地方政治を最重監察す を設けて中央及び地方政治を最重監察す で設計なた實施し撃固なる中華民間を建設すべく社會安等財政公開等の核本方針買行 服教表された概要左の短り のでは、概、法三巨調より擴大會職に提出された 地方の重要施政が此の一さして既、概、法三巨調より擴大會職に提出された

きのふ北方政府發表

樞府の態度を 嚴重に監視 

順とて二ケ所より四ケ所までを限度とす軍の移動及信等中央の管理に歸す

政友會の三大政策

政務調査會で決定

陸相園公を訪問

わが商船を射撃

同社制は対け金龍山で経練されば、 関東は新条江州近で射撃され四要

遺外艦がこれに應戦

一ヶ月内に完了

外無さ支那時局

一二品大引緩みでは一個大引緩みでは中、先さも三十段の外高を入れたが大引は中、先さも三十段の外高を入れたが大引を落ったので含市は無迷園駅にで見送った。

**結果 過國會選** 

にして出な

**資格要求否決か** 変那の理事再選

られぬ戦艦の陸駅が尚来てくる 一大将艦駅用では破跡部域、駅門 大将艦駅用では破跡部域、駅門

を全く変用を動に対しいしのですれ、現れては電影に対しいしのですれ、現れては電影などを組んが、

B 業事税が対ではないがどうりを整事税(かりではないがどうりををがしたらざんなものでせず、低へば繋票について見てせず、低へば乗りにしたらざんなものでせず、低へば乗りをした。

で、小概なだましてそれな事に

「線ので

成は取膜の肥麻があるかないかさ す。其他の鯨の碗和も例へば駅気をするか、どうかも知られます 治つてゐるかなざも見られるのでをさらればならねか、とらいでも か以前に秘密した散膜炎が完全に

からわかるから真一味給乾ださ

かの間に遊話な手数をすれば治療・ お茶じの短く今日では緊密板も砂ます

をは毎日十数名から二十名記としてあったと言ふ機な事が発用されてりします、周徳の監検の観問や 空滅なども網別に知れるのでありをする認識を ます、智利の手で被管する認識を があったと言ふ機な事が発用され

子を書かせてゐるが、

すけしませんか。

カリ贈ってしまった。

歌に寄り権本を見てるたらウフでなる可く途中で避んで除るや うにした。或日途中で避んで除るや でなる可く途中で避んで除るや

をしてし、それはボアしく歌や をか使きかの歌大統領系はある をか使きかの歌大統領系はある をか使きかの歌大統領系はある

B 女皇院の家事科は吹観を致し

三音は単数の歌りに水さな子供が長い立都な店を持つてなるを 見つけた、「あんなのがあった」とって歌くなれる」とよって歌くなれる」とよって歌くなれる」とよって歌っている。

家事科の改善

▲ しつて質問経なしのにしなけ

はなか力の入れがなどにやかま はなか力の入れがなどにやかま

▲ 対果的でやってるを哲学などはどうお称へになります

ちまたと

どめるこ決つて二、三度お母す 大郎は単数から眠って微智なは

平沙沙教性

字の取扱ひ

はまたり久しい、対部徴でも観察の似子中學教育味能の必要であることを壁り接跡さなく委員會を限いて気を動きにかけるまでに得ざつけたもしい、そしてそこを重要すればいよく。※年度から寛伽する壁びになるらしいので練明高がに対すが飲みな客年度から寛伽されるやしての意見を聴いて見るに内地のどの新職かで見るに対しての意見を聴いて見るに対しての意見を聴いて見るに対しての意見を聴いて見るに対している。 記者の 一問一答

さなない。

修成の音もなん

村井神明高女校長を訪ねて

A それも新枝になるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるの配がになるののです。

まではないでもず、ずくさし固語さないやうですが、ずくさし固語さないやうですが、ずくさし固語さいかのです。

まではないでせうか、そして能の変数は両文学型の影響を置くべきなり生徒の極いの歌響を置くべきなりを表していてもうか、そして能の変数は両文学型の影響を置くべきない。

▲ それは釈迦ばかりでありませ B そうです、どの學科にも記載 ないさ痛難に癒じてるます。 校友會の雑誌

なこさがなくなるでせう。 れる戦略や生徒の研究者表徴間のはすつかり捨て、しまつてわ ※食器器についてどうお寄へに 

▲ やはりをうお考へになります
か、郷と同じやうに考へてゐる
のですが、もつと価値あるもの
にしなければ皎友を総論の衣伝。

鳥居博士一行の 平山行隨行記回 紙を焼く光りで仰ぐ

大原るそうで現共が行ってから一 人房をそうで現共が行ってから一 人房ををうで現共が行ってから一 人は居る間に除って楽ませんでも たが、何れも別に勝つて楽ませんでも さ駅ひます。 西北町なのでが方はで、幅めて靴砂路な際とがする さ、自然の光線作用で配白く出來消滅内が餘程明かるくなるさのこ

多分其の既だらうさ鳥居塚土も路

云ふ話があるさ

時に巴に一度近の減額を動揺して

し研究し、ぞくこれを打開突破一十年間 立身築達の近道は 面でもなく、

惟信したものであります

是こそ希望と歡喜と光明に満ちた むして説いてまし 榮達の國民讀本です

信 青少年男女に推奨したい お獎 め ます

ではの感動を作られた男が驚いの歌や「戯曲の歌」は、続いぶ新歌紀に編 一次 口性では、野間名が繋ざれた「歌曲の歌」は歌に結構な影響である。野間名か、一次 内閣標理大臣 ◎蚊に食はれながら面白く讀了 第一本 多 新 第一本 多 新 六

御覧にならぬ方は、 讀ませたい 新ので、映画はこれを概念とで、10 山 古歌として一葉すべきよのと在じます。 中國小學校長 の大増刷の 治

のはさりを進ふ。山の戦略一然になびきだになびきだになびき、えも言はれになびきだった。こんなに美しく遊の関係である。こんなに美しく遊の関係である。こんなに美しく遊のであるのに、謎も見て来てくれ 野達の苅萱かりそめの掛に 竹風草人

公草姚冶

ガネパテ、オモナヘシなど機械工

報知新聞社長上

人日本

雄辯會講談社長

内部を窓道に振

に燃えて居ります

し世を益したいと、

眞劍熱誠の

微力ながらい

より

倍々精進努力

き賞讃推稱の辭を戴き、

社長

始め社

員

同

0 如

全國四方から殺到する山なす御註文、

THE PERSON

は大てい

VZ

を行いにのか

大日本学 京

願

ます

世界獨步の强力消化酵素

襲學博士工學博士高峰讓吉氏發見以來三十餘年、今や 化酵素の資庫でして整價彌々高し

消化不良に因する総ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 結核其他慢性病者、重病恢復期等荷も食慾を亢進せし め、消化を住良ならしめ発養の増進を欲する總工の場合に

此明書御中越大第選星 包裝 末、锭、强壮而等各種 **人速市山梨道一九三** 株式會武三共黨品版資訊



▲剛崎虎雄氏(風際運輸取締役) 十三日過長大連へ 十三日過長大連へ 大連へ旅行中の處師長 をは日支官長を被称し整輔七時に をは日支官長を被称し整輔七時に をは日支官長を被称し整輔七時に をは日支官長を被称し、多分縁を をはお述であるが、多分縁を はいる。 九分養列車にて必勝の意氣を以て準監督に引率され十三日十四時十 憲監督に引奉され十三日十四時十全長務庭郡部選乳一代十名は小石 小澤氏等の努力でごうやら第三回 十六日以降その繁実時間な午前九満洲銀行吉林支店及び吉林銀行は 北關夜話◇端水支部長 回転就することとなった汾陽書記機能事館にては十三日正午より今 避球試合 の祭販なので長春取引所 を施した、国に を施した、国に であるとなる。

主

段級試験と共に廿一日奉行

仙石總裁視察

吉

林

名を催す

2十分長脊柱で、野は、大きの人々より次

全長庭球選手

哈市へ遠征出發

橫濱正金銀行大連支店

東洋拓殖 大連取引所信託株式會社 銀行大 大連支店 連支 店

は京館を依止するさ

及取臨時休業

株式會 式會 社 社 正 隆 洲 銀 銀 行 行

株 大連取引所錢鈔信託鰈

中 株式會社大連商業銀行 銀 行 大 連 支 店

降雨で延期

時より午後三時遊さ髪更した

して一般と静低する歌

銀行營業時間

通 行 大 連 支 店

交

金

行

大

連

支

店

国氏は十月孤領出費が 松のために選別数を戦 人のために選別数を戦

選手の旅費支給

長岡夫人の招

野球リーグ戦

警察官の潰職

感事をなずに至っては、歌語童利でだが、職業者を共謀になっ

蝶々會一

宇紹彦、沈端殿の母事に戦

◇開原校の運動會◇

庭球各チ

ム出場し

主任更迭

西實三六國 西蒙水便風

大朝安東通信部

山

優勝旗の争奪戦

二十四日瀬鎌コートで奉行

濱江雜组

◆観察を取締るべき者が観察を なす、さ云ふこさは、捨て置くべ ならば、野祭笛の街遇は必ずしし ならば、野祭笛の街遇は必ずしし

野精戦監社艦吹季旅順野場大一

秋期旅順野球大會

明照寺の盛儀 二十餘名にて特に婦人連が多かった

△女生

質しいお友達

穀物輸出數量

八月

四平

学を通じて最も院散期である八月 中にいち一ケ月間さの位の歌號を 中にいち一ケ月間さの位の歌號を 中にいるでは、一一ケ 中の輸出数額の統計を見るに

鐵道時間表會議

保止することに決定した 旅客観型のためヘルピン豪午後一 仙石總裁日程

電鐵者は六十名

本社の大福引に…

空の暗黑日 所員、訓示、支那側を訪問、
▲廿五日午前八時から事務所に参拝、同夜臨支有力者を招展支配者を含見、同五時志士
■支配者を創入。同五時志士

公會堂の賃貸問題

松田演藝部の承諾で

十三日、圓滿に解決

が 長、 製師神、 徹本 動能を残淡を取って月極めたれる間が、 大工 国を 以て月極めた十五国を 以て月極めた十五国を 以て月極め

快時の校庭に 兒童達の大活躍 責任競技は白軍優勝

(監育教育経療部では来る二十 | 製造所五〇音に申込まれたしさを を表現、小量校、大正道、網 | 製造所五〇音に申込まれたしさ において秋季後間 | 場せしめアーピースカップ式にて を表現、小量校、大正道、網 | 製造所五〇音に申込まれたしさ

普蘭店

瓦

房

店

で野菜を配名の職品の検索を、は、水気中を低できるこの教物ででいる。 はいい 一般では、単純の秋雨も広飯は一般に実験も加はり大十二回の書き、「製作、単純の秋雨も広飯は一般な、私は柳陽區、緩、、水気の書き、 医勝は機關區軍

賑った陸上運動會

乃木會の集 中職院在街のか木を脱げ十三日小學校で 中職院在街のか木を脱げ十三日小

林檎南洋輸出

大阪親日新地会東画像部も低倉織大阪親日新地会東画像部も低倉織 古线 朝鲜泉城笠井町三〇笠井杭川朝鲜泉城笠井町三〇笠井杭川朝鲜泉城笠井町三〇笠井杭川

旅館 宿一個吹遊各室一層便利 ・ 大きり 第二二〇六六 牛乳 パタークリーム ※洲牧島 電話六一三四番 ボッタークリーム 二チ ロペン 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 電話四五三七番 の連町一丁目奏道 日藤洋行 のでまた六〇一番

(序劃遊戲都街鎖連市建大 第二五二二二品類

傳家 16

少東 東作学 共の他各種協居より三朝安和本下 決選市松林町松林安福 大連市松林町松林安福 婦科科 川児科

通勤家政婦 (解學例)一日一圓 (解學例)一日一圓 

通七九

英は ヒシカワ薬局 セシカワ薬局

記述迅速

金十二回

電話七八九三番へ

ウロアの楽をなななり

カ筋病者の実施ワ

皮 情 病 融 在

尚德語

中書 邦文タイプライター印書 新文タイプライター 日書 郷文タイプライター 日書 郷文タイプライター 音社 大山道 小林文七支店 名別 マグ出來まず 大山連八日本橋際) 吉 野 誠 大山連八日本橋際) 吉 野 誠 東京県前妻夜撮影男か 電話三五八四番 × 光光 巣 ボネッキ

軟性事法法

局風を景仰 多數婦人も參列して 木將軍の

武德會支部 武道大會 出場申込は 廿日まで

多数の出版を希認してゐる、出級的、清鏡社員その他全議武道との他全議武道との他全議武道 金一回四か分数場を任計順等のもさんは、大のやうな手能を確へてされば、大のやうな手能を確へて

京職にては一九三一、二年の歐洲 ので十月世日から世五日まで六十十七を受けた。 全勝地はコーベンハー 十七を受けた。 全勝地はコーベンハー 十七年 日本で、二年の歐洲 來月廿日から六日間

榮冠警察A軍に 引揚げるめるため近一里高氏は十三日來哈 安奉線柔劍道段外爭顕戰---

の歌舎の辞に
の野舎の辞に
の野舎の辞に
の野祭本
中中・ 昇格の祝宴

不社の大福引に

富籤の福運者

の受職を製した が受職を製しの監験を の受職を製しの監験を の受職を製しの監験を の受職を製しの監験を の受職を製しの監験を の受職を要した が対する主義を のでものでものでは、 のでものでものでは、 のでものでものでものでものでものでものでものできます。 のでものでものでものでものでものでものできます。 のでものでものでものできます。 のでものでものでものできます。 のでは、 ので

景品引換は來月 

一日から

日夜市場通安東美術クラア原味を穀地製菓のマネキンセールは十二

マネキン嬢

邦文 タイピスト短期養成

待合福家 近江町電車停留所前電車停留所前でステムペー狂犬病 電話五六二六番

は付引き延し電話ニー五九八番へ 日本橋宮裏館へ養夜撮影及現像 伊勢町一四番地 伊勢町一四番地 濟生醫院

門札がり込みでスペセ五番

街

117<00 117<00

**一三一點後礦垛、同** 

讀者慰安招待

松崎販賣店で

軍人分會評議會

(一)防傷除漢霄質塩に関する仲の一)安藤賀氏の軍事口濱に関する仲

軍馬炭疽豫防注射

看遊 來談 中央公園停留所前 中央公園停留所前

型学院設別さはいへ大連網出の被と思る理会

石

視察團

次ぎの日曜に

日中国河において野波會を催した
田川一原理学世大人会
田川一原理学世大人会
田川一原理学世大人会
田川一原理学世大人会
田川一原理学世大人会
国易名佐吉
田川一原理学世大人会
国際政治帰除司令部一等教育佐山
原政・監督を指した
「作文郎氏が十三日楽館した

軍斷然捷 各軍の奮闘物凄~

觀衆熱狂した運動會

劍道出場選手

奉天の大會へ

實印の御用命は

で の検査を施行したが大量において の検査を施行したが大量において 変用馬車檢查

奈良家の不幸

が派職其他を行り服日共盛する極

赤川氏管口に榮轉

国内のカー ●です

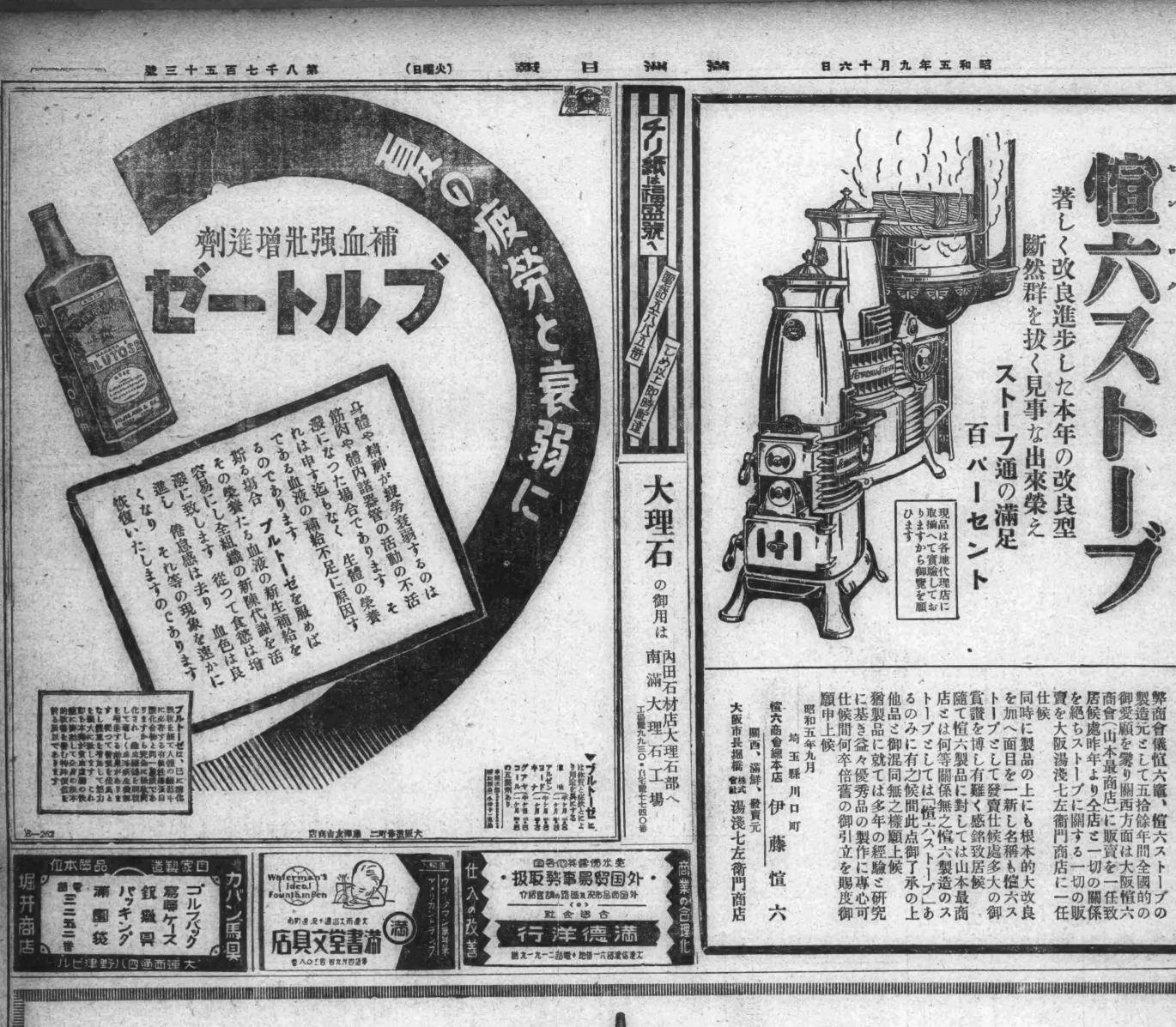
文兄會に對心山口勇氏より令 際校父兄會に對心山口勇氏より令 同在學記念さして金十個な密體し

● 五行□回 金 六 拾 數 ● 五行□回 金 画图五拾數 ● 十行□回 金 一個五拾數 ● 十五行回 金 一個五拾數 ● 性名在註述回 金 二拾數 ■ 性名在註述回

日案内 虚紙 数字

古木、関係が一山間電四三大二

吉野町電話四六二七番



昭 \*和 年 断然群を拔く見事な出來榮え 改 改良進步した本年の改良型 良新型 ープ通の満足

に切の一阪國ー 一の關任権的プ 任販係致六のの



(+)

店

倶を屠つて

大 廣

場で富



霊地帯に近接、

・ 世野され心臓してぬた、 ・ 世野され心臓してぬた、 ・ 世野され心臓してぬた、

州内中等學校の

陸上競技會

來る廿日旅順で開催

のやう

生命九時より旅順運動場にて繋行したので香気は既に百寒だげを整 生命九時より旅順運動場にて繋行したので香気は既に百寒だげを整 大會は愈々來る二十日(土曜日) 所は三、工場開保は四さ大懐統一 大会は愈々來る二十日(土曜日) 所は三、工場開保は四さ大懐統一

釈池寛氏の一行

主金を費消、長銃で自殺

常島で出演のため去る十二日出版

組合長の 大タク解任す

の間との大連自動車を変ね合いは協定値段を破って割別

戦者を組織して監察を織するはで りでなく松花江の水道を利用する院、市政中央解院その他が近く委 ハルピンでは環路による旅客でかてついてハルピンでは東螺附廊器 緊策を寛施するに決定した、然しについてハルピン特電十五日豊 | 深高波 | 遺除生際説と協力し是称で輝ての | (ハルピン特電十五日豊 | 深高波 | 数を信ふこさになり、特に南海銀 哈爾濱は防疫に懸命

> 大立一律年に 0

北浦のペストは 十ケ年目に流行 今年は丁度流行年に當る 参数なものを列撃されば ★眼病二百十八名、呼吸器網音十二名、 六十八名、泊化器網百十二名、 流行網九十五名、耳鼻口配網七 九十八名、皮膚網五十七名等

九月二十八日午前九時 選手組三組補軟組二組

部宛申込みのこさ

神典へてゐる 神化器與五十六名、呼吸器綱 五名、皮膚綱十四名、神經系統 名、遊尿生傷器綱七名、手序器綱四 名、遊尿生傷器綱七名、導師器 網六名、鼻咽喉洞七名、運動器 網六名、鼻咽喉洞七名、運動器 網六名、鼻咽喉洞七名、運動器

各位閣下殿

多い簡保相談所

町ばう プラ番に於で九月十五 次眼するのでありまず場所は機械と 対形え、はまなべを以て此の様と

全滿庭球大會

改戰々々

し一層の御引立の程伏して御願ひ申上ますれる。 尚は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一を記される場で御座います。 尚は室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一を繋撃事儀日頃御贔負を蒙りました本店を左記に移轉致しま

電話

支店 四七五 四〇七 一八八 Ont P

大連市美濃町十五番地(元千勝館跡)

早シ三回興 シカゴ情敗す

■ 数 一二三四五六七八九 計シカゴ 300010020 6 パフテリー 早大 冷水、多野 ― 伊選シカゴ ヘンショウーーウインゲート 大の後を追かが開設し、大の後を追かが開設し、大の後を追かて阿片自殺が不動もある。 下しい は一五日午前十一時にて死亡したの後を追かが開設したの後を追ったものであるさ

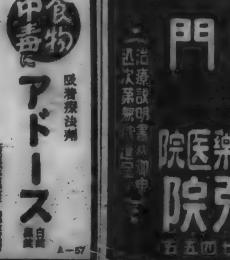
改正 強電話番號

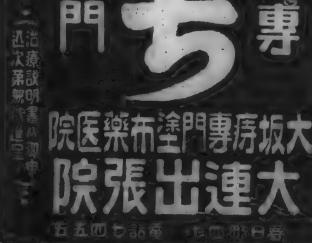
米穀商 ◆ 上心 摩

を展示するために社内電話を自搬式に なられるにかず一々書館が終て千座さなるの なられるにかず一々書館があったのでこの不像 なられるにがあったのでこの不像 はそれらを晩記するために社内電話を部の 

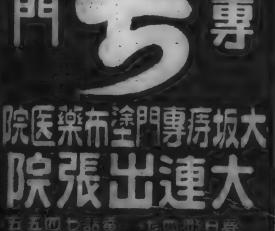




















さ、駅よ即らなく、空間の棺が、ガラリで限いて、月桜がが、ガラリで限いて、月桜ががのて来た。

滿日柳塘

杨月南湯

相関がなかつたる軍令部承知せ

さ、見ただけで、神経は

多食の日本人

無う思ふさ、即縁は思はで真誠

でてあるが他の心をあらゆる歌語 じてあるが他の心をあらゆる歌語 し及ばのほごか無つてぬた。 歌語は製器と知って動かの歌が からいない。 ではり無いない。 

を表すが感覚する所であって、この は をすい門外部の優別をなした はか を表すい門外部の優別をなした はか を表現のロつまりい門を選ぶして外 を表現のロつまりい門を選ぶして外 のロなるい門を被めてゐるものは をいよのがあり、性外の影響に動してある。 といよのがあり、性外の影響に動し をいまり、性外の影響に動し

辞紙答の膨脹

卸現資金

詩行

御相談に聴じます

大連市見近町四番地入

う呼ばである。 ため僕に戦化して便物することに

無候と病勢亢進

かられてもる『小説ちの歌』である。この歌は種々の歌に於て透明できる。この歌は種々の歌に於て透明 ではろしきを得れば**聞**じて 歌謡の

まつて影乱し舞とすれば戯竹の形成に よつて影乱し舞とすれば戯竹の形成に

便秘の起る課

炎症惹起の因

痔の原因と豫防

への衛生常

一木真一作

°°°

先づ知ること

理解を持つことが必要

▲色の白くない

のが自然にかくれ

生れつき色が白いやうな白さに

落附いた美しいお化粧が出來ます

肛門部の組織につい

色の白くない方の白粉

あぶら性の方一年ばいの方にもし

を持るためには新一に近世ががかった。他づて実の正しい知識を作して思り、其の部といれば、大の部では新一に近世ががからには、大の部でなるものが発生する特別の表している。

ころうた。そして、それは「戦略にしてし、あき足らないで観してあった。 そして、それは「戦略によた電観を ておいて、今になってあわて、いいった。 から、 がと、 あんな時、 秘が髪なった。 ちっじゃるのれ。 髪って影子なし ちっじゃるのれ。 髪って影子なし ちっしゃるのれ。 髪って影子なし なが髪なった。 から足らないで 観光して 、道底し

便温の習慣性

でも飲物の側向ある人は平然影響 でも飲物の側向ある人は平然影響 でも飲物の側向ある人は平然影響 がいけれども動をした動にも がは一窓師の水がを限っために動 がは一窓師の水がを限っために動

は門職職を記し、とのは、大な意味を称することを知られば、というない。

「は、大な意味を称することを知られば、これのは、一般には、一般には、これのであるから実験が、一般には、これのであるから実験が、一般には、これのであるから実験が、一般には、これのであるから実験が、一般になる、本部に、というない。

「他郷を記に、既和にしいますを代は、は、一般に、なんで、は、他になる、本部に、教徒と、なった。となど、では、ない。というないいるない。というない。というない。というない。というない。というないるいい。というない。というない。というない。というない。というないるない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というないない。というない。というない。というないない。というないない。というないない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。というない。

愛し子様の為に 煉粉 本爺盤 僧の因で、母親子共に憂鬱な日とお送りにならない方がでざいますが、それはやがてお子様の歯のい方がでざいますが、それはやがてお子様の歯の子供に入シ歯は附き物だと軽く説で、これが 質地に放へてあげて下さい。のない様に、愛し子様の角めに玆に掲げた事柄と ければならない様になります。どうかさう云人麻 税 でありますが、 昭和時代に でいるりますが、 昭和時代に 小 ふシ網を動ぐ無に軽体勿論、複複る前に 多くとも年に一四以上、僧の保意的職を 我無折き、るまい後を召上った時には、 必ずライオン信息できまして 林商店 の際には、よく

三馬カ半より 拾五馬力迄各

セル

小倉厚司 山本洋

鑛業所 ●上 中前九時出號 | 廃山丸 九月廿日 代 粤 店 大阪商船城武大連支店

あぶら性の方に肌も美額粉白粉

沙河口東能住行門を 大山瀬 出 張 所会 アーリスト・ビューサスト・ビュー 乗船切符養質所

大阪商船前城大連支店



全力を注ぐ

秋野忠一氏視察懿

生態がでの程度にまで成功したかがほかがどの程度にまで成功したかが、現に角一

U

露支交渉行惱みから

街頭に反露宣傳文現はる

腹をきめて動かずば

局面は自らひらけん

十五日の第十一回委員會を控へ

政府側前途を樂觀

it i

然り、責任か中 いづねか中央政権で、ご人な確が よいが、今度のや

養」ふの要なさか 製薬の時局、使相場の加く強気 り業家の時局、使相場の加く強気 り要素のり、変子、質手と抜み り、変子、質手と抜み

一時間に亘り

は十四日午後二時半世東委員長をは十四日午後二時半世東委員長をは十四日午後二時半世東委員長を 二上書記官長

打合せ では、大変能野、以生 の気が変、大変能野、以生 の気が変、大変能野、以生 の気が変、大変能野、以生

では十四日正午小東委員長を訪問 る産業立嗣主義を付料さし副務 『東京十四日餐電通』二上書記官 第一根本對策、投黨既定の政画下、 経済・政策の要項

丁、行政財政整理

からさいつ し約一時間にわたり明日際金の変でする材料の あつた 濱口首相ら

電流では、大学のでは、1 を表現である。 1 を表現である。 1 を表現である。 1 を表現である。 1 を表現である。 1 を表現である。 1 を表現である。 2 を表れである。 2 をまれでする。 2 をまれでする。 2 をまれでする。 2 をまれでする。 2 をまれでする。 2 をまれでんれでんれでものでもの。 2 をまれでもの。 2 をま 次回委員會は

十七日開會

東京十五日 要電通道 概府ロンドン 株線第十一 画線変換 (1年後三時総合した、 次原代十七日 職会に決定したが 政府側の 出解は今回に決定したが 政府側の 出解は今回に決定したが 政府側の 出解は今回に決定したが 政府側の 出解は今回に決定したが 政府側の 出解は今回に決定したが 政府側の み居迹り 説

福田顧問官斷念

天津駐屯の我歩兵隊の市街戦演習 天津歩兵隊(三ケ中隊)(試資南事變に偉動を輝かしたので今でもこれを誇りさして時々市等限の延練智 かやつてゐる動亂ごさに脅かされる租界陸備は命令一下水も洩さに削湿が散分にして完成するやうに なってゐる。寫真は日本租外さ支那街さの境界を堅めた光景《天津特信》

# 金制度を制度の対象の

切つ

無條件停戦勧告か お家の歌大化に鑑みこれが默蒙に のき意見の交換を行び正午覧會し

奉天派其機會を待つ

ながさ体験も口でいふながさ体験も口でいふ たのは事実らもい が谷殿線共に小騒合で解剖力殿 指駆してゐる、總攻殿会は下った。何成落氏は周家日に在って夫 振坂殿会は下った。何成落氏は周家日に在って夫 石友三氏が

中央に妥協申込 五日發電通一十五日早朝

機會を梱むに汲って可能させば何

オプス氏著京 合

當市保合

市 次 全三世

◆定期取引量的

鈔

人氣引き立す

支那 かっ

政治

がき支那時局 解決

滞奉中の孫傳芳氏談

0

支那の理事再選

仙石

鐵總裁

寺見滞を視察

資格要求否決

國際聯盟總會にて

十五日午前中に世来子の最終を終 へた他行高級総裁は同日午後地底 の大地行高級総裁は同日午後地底

外務當局は支那側の要求は何等

快定することになった、 市場の前に投票を行び 市場の前に投票を行び 市場の前に投票を行び 市場の可否 であった。 をイションを起したが本制題は をイションを起したが本制題は をイションを起したが本制題は

秋郷く深し世戦を変切りて に辿れる

福府しこれを知ら四等はない間には一個所もこれを知らり、故に政府が固く社を確めて動かれば局面は自ら権所が固めれて来るであ

【東京十四日發電通】獨口當根は 重要協議 度について

政友會の三大政策 政務調査會で決定

公正會對策協議

リダリバンクシル際役割行に難ししてのたが、極東銀行に難したので強かの変響を引入原で五ケ川間を頻響を記さしていた。他のでは、極東銀行に難したのでなり、極東銀行に難したのであることに確認した。

張昌宗氏舊部

東三者州萬元、漁業卅萬元

残宗昌氏の許に行つたが五日出帆のばいかる丸にて別府の 分甲軍器越長獨立村、

委員長を訪問

B

東鐵の借欵成立

露支兩銀行の間に

がらず

引行き様が食具をなず等である。なは極氏は十四日日曜にも描ら

小競線ご 新駐日米大使

擴大會議に提出

訓政實行の規約

は今朝蒙美された衝勢左の加し きのふ北方政府發表

自然消滅 さいふ旅行で一自然消滅 さいふ旅行で一 してそれは機學政氏の一片の和平 順はその時期である、双方さら版 が順はその時期である、双方さら版 は、本ので、大学職 は、大学のである。、双方でも、大学職 は、大学のである。、大学職 は、大学のである。、大学職 は、大学のである。、大学職 は、大学職 は、大学のである。、大学職 今の經天會議はこの時期を催むこ

> 鮮人共産黨の

公公

巨魁逮捕

れてゐる 常にもその行動を助け現に共産 居つた事もあり、又遊艦の間島

後

三品大引緩み 品薄により 當市氣乘薄 三二一十十九限

約法起草委員

注目をひず 伊代表と

十五日懐仁堂で開

3

人保田武官談

各

品

持寄會

縣

| ではなりません。そしてが其のかれば英語の治療説でよいが第一

ひに前さは良くなつてゐる事かわれるのでこれで遊戲な治療が能し

レントゲン診断

ントゲン

或は服膜の肥陰があるかないかせーす、失他の脚の概念も強へて脈突吸軟するか、ごうかも知られます。治つてゐるかなごも見られるのでをさらればならぬか、さらいでも か以前に轄連した脱膜炎が完全になるらればならぬか、さらいでも か以前に轄連した脱膜炎が完全に

脚線験なども影響されるのであり 原際演、脚連在、脚脱、 地震高、

多分共の類だらうされました。

お存じの匠

書された場合は何さしようで其のかもわかるから萬一歳給核ださ明

萬一騎結核ださ明

TIENBALE)

新の間に**運需な手間を**すれば、 お存じの如く今日では転給核

高級味さしての取扱ひをする

B 楽事器ばかりではないがざう と生生が戦へ過ぎますれ、もう

キャラメルやるからこの形を

も生徒の中には紹ったの子供も

をかしては生花や茶のかなざさ やないかさ思ひます、棕漉腐治 のでかではないます、棕漉腐治 とればかないます、棕漉腐治 とればかないます。

家事科の改善

が長い立派な形を持つてゐるを三吉は學院の飾りに小され子に

女學校の家事科は吹器を要し

しつさ實際的なものにしなけ

取ったキャラメルの死りを持つ ち、さつさ能くなれる」と思っ ち、さつさ能くなれる」と思っ たので、大然ぎで彩へ織り昨日

りはしませんか。

カリ勝つてしまった。 それが嫌なのから鳴られた、それが嫌なのでお友家のかかれた見てぬたらウラ家に寄り様本を見てぬたらウラ家に寄り様本を見てぬたらウラ

本 女果被でやってゐる智学など と情重記にも等しいものでせう く情重記にも等しいものでせう なさかカの入れがなざにやかま たさな文字を書かせてゐるが。

じめるさ決つて二、三度お母を 太郎は學校から疑って復習をは 督字の取扱ひ

學科が少くないやうですれ きうした標識から見て不必要な

るなり生徒の趣味的成党に任せるなり生徒の趣味的成党に任せ

平线 教告

教育と其改善問題

村井神明高女校長を訪ねて

へ来年度から実施する選びになるらしいので戦明高女に るまでに滑ぎつけたらしい、そしてそこを通過すればいよ の中であつたが、此の程順く感激を得て交政影響會にかけ 要であることを避め機筋さなく委員會を眺いて吹養製によがかなりならい。対影賞でも健素の女子中等教育吹養のめがかなりならい。対影賞でも健素の女子中等教育吹養のめ 記者の 問一答

國語の教科書

B 女部教の女子中等和市歌教製 うに内地のごの新職かで見まし うに内地のごの新職かで見まし

ないる痛がに感じてゐます。 校友會の概誌

▲ それは料理ばかりでありませんれ、私はさうした継承なすべ 層るだらうし、料理をではなく さしお母さんが、これが、これではなく せうから、生徒に自由、現実をも せ、要検では対けの教授よりも せ、要検では対けの教授よりも れば料理が作れないさいふやうれば料理が作れないさいふやう 無がしますれ、興味の失せたや おいまで扱の見てゐる校友會 太金雑誌についてどうお考へに

中も一年もれい報告の中うなものはすつかり捨て、しまつてあれた教師や生徒の研究要表際関にしたらざんなものでせう、にしたらざんなものでせう、ではりきうお響へになりますが、私の目じやうに考へてあるのですが、もつさ價値あるものにしなければ対方食業等の存在

の奥、森さ十五米はかりの行つま りの場に巨大な熊熊が嫌まれて居 と減いはかり違入つて行かれま

御本館は佛華瀬さ称する観乳海 はい恰好して居ります、高さ三尺が、前の大きなだの佛族は一天際が、前の大きなだの佛族は一天際が、前の大きなだの佛族は一天際が、前の大きなだの佛族は一天際がよって居るのも置白いさ思ひ

さ思ひます、西北幅なので学がは低で、確めて神経的な感じがする 歌ら十分見るこさが開来ない位でで強適に参評したのでは惨寒の報 既に載って居るからそれ以前のも さ、自然の光線作用で配合く出来が窓内が餘程明かるくなるさのこ のであることは明かで、或はまた 博士の話では、明の頃の記録に

中をローソクマカンテラの火なたよりにあちらの壁、こちらの穴さよりにあちらの壁、こちらの穴さとり、それはく 機能に原金せられた、ではて、伸展でに使かればないなした、何度でに使かればない。 て歌歌に調査 類まれた情報 及内部を認真に撮

き賞讃推稱の辭を戴さ、

社長始め社員

同

全國四方から殺到する山なす御註文、

潮の如

反響!

に堪

す

國に盡し世を益したいと、

眞劍熱誠の意氣

倍々精進努力

に燃えて居ります

**威激威奮** 

微力ながらいより

秋草姚治 野場の苅萱かりそめの 竹風草人

に動った脚子を影に揺たやうな紫 で、ワレモカウを手にして老婦人 で、ワレモカウを手にして老婦人

鳥居博士一行の

平山行隨行記

[中]

明以前の古い佛爺洞の本尊

紙を燒く光りで仰ぐ

さなく恋い。

館虫の音もなん

| | ボネペナ、オミナヘシなど機様工 | 深より軽へさ | カネペナ、オミナヘシなど機様工 | 深より軽へさ ガネパナ、オミナヘシなど機能に 山上の風気には、メド

そちかうの花に

くれよ。旅 無険いた花ちや無いないでしています。 少しは大切にしてい

て居るさ眺ひます、今は進士が三人房のそうで秘典が行ってから一人外から降って来ましたがあさ一人外から降って来ましたがあさ一人は居る間に除って来ませんでしたが、何れも別に整つた戦人さ云

不能不休の孫脈を配けて居り不能不休の孫を「明るく、海く、正しく」――の孫帝の下に、正しく」――の帝帝の下に、

此の 虚 世の 道」は ………… ・ であた血と汗のにじむ強い記録でし、ぞくこれを打開突破いである。 ・ とが院一本から今日を築く迄の二十年間野間社長が院一本から今日を築く迄の二十年間の水で重なる訓話や理節でもなく。

とも前向情と前後接を貼り間卒後度即変勢のよ。此の

皆眠人が居たさ云ふ話があるさ何

時送しその話が残る

是 

こそ希望と歡喜と光明に満ちた

これより外に無いと、確信したものであります。 新時代の世渡りの極意、立身榮達の近

立身榮達の近道は

いさ云って居ら 育のが出され 處世、修養、榮達の國民讀本です

信を以

お獎

ます

◎汎く青少年男女に推奨したい

響き、強を打つものがあります。
を指男女、誰方にも威楽深く、言々句々晦に動して説いてありますから、老若男女、誰方にも威楽深く、言々句々晦に

は大てい

であったさきふ機な事が実験を表現します。 であったでこの法で表を献える機でもない。 であったさきふ機な事が実際を強視の分岐 であったさきふ機な事が実際を強視の分岐 であったさきふ機な事が実際を接続の分岐 であったさきふ機な事が実際を接続の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の分岐 であったさきる機な事が実際を表現の一つである。

就で充分という。 をす、事実昨今大もた自然 をは全く観察教歌のかま とはは全く観察教歌のかま

会院、即間君が著ざれた「虚世の道」は寛に結構な書帖である。即間君が著ざれた「虚世の道」は寛に結構な書帖である。即間君が、 人間 は 日 住宅院・即間君が著ざれた「虚世の道」は寛に結構な書帖である。即間君が、 人間 標理 大臣

◎國民一人殘らず讀ませたい のの紀、殿は、戦略はこれを教材として一四山山 は 職社として一歌すべきるのと依じます 帝國小學校長 靜

六

絶好機にゼヒ御 御覧にならぬ方は、 讀を御願ひ致します 此の大増刷の 治

東京

大日本雄常會講談社

化不良に因する總ての胃腸疾患 (2) 無力性胃弱者 賞用せらる



報知新聞社長 大日本 、让長 况

間

それは漸ツと大正十二年

煙さ代って

共用栓によ

の蓋明け

養の殖庫にて多数官民の見送りを六陣隊長は十三日十一時五十六分

無私阪子居住蔵王賀山は當地に所去る十二日午後大陸二十分野鹿山 近を通行中限をのため撃銃で撃場用ありて水源地の西方煉瓦工場 辻强盗に襲はる

歌歌を映よりは十名宛の歌手を歌いてまれる四歌歌合大運動をにて歌いてまれる四歌歌合大運動をにませた。 選手の旅費支給

金

行

大

連

遊し谷人の旅程等は教育職より支 部城谷使よりは十名前の選手を派

地景職職職事夫人は常息全場

惜まれてゐる

被疾逃脱のため來公中の山本第十

交

通

行

大

連

支

十二日來公

館にては十三日正年

**孫野、又木、水口、** 多田、優地、千川、新野中、水口、浦 寺澤、廣岡、輔欽

等一順につき金九園五十銭である 製職の上特種境院の脱鍵を十五日 製職の上特種境院の脱鍵を十五日 の職にも家内族を最もたのが降雨の職職で、人権限の場合を終り各の秩予運輸を終り各 小學校運動會 十五日から

山本師團長 め延期さなった 降雨で延期

は不確認總裁は近く來吉、親く日 をは日支節民を選続し登報七時に て就化に超き同地に一派の上職長 でもるが、多分継額幣 時より午後三時遠さ継載した十六日以降その整製時間を午前九 銀行營業時間 庭球試合 汾陽氏送別の

仙石總裁視察 

(日曜火)

小學校の誕生は

Polis

圖

(十三)

露時代の監視部屋

暗いランプから電燈へ……

亦軍優勝す

十四日の満鐵運動育

偽造貨幣

續水發見

ロー等で二十七枚、十三日は二十七十二日は野遊が攻破さなってその鉄を中し十二日は野天霧出札塔、ピューし十二日は野大霧出札塔、ピュー 青組、断然優勝

本公白〇一

哈陸 競 午後一時から四公園で擧行 待される白熟戦 會曜

監審日は石原師既來公し曖昧を終 十一日午前十時より講練道場に開 会主線における秋季号道大會は二

吉

林

段級試験と共に廿一日擧行

石炭廉賣

日程

貿易国典策は職の件

局の振行的形形機能を知り 季弓道大會

将附属地に於ける最級の人質事一 片割一名逮捕 附屬地荒しの 公

常年語會の感像も遂次都合よく運

主 九月は多事多職な秋に ばすぐその次に控へてゐるのが滿 嶺

局鳴る弦聲 碧の秋空に 全滿弓道大會に 六十九歳で日下支那郷に交後中で 庶務課長 十四

一分五

つた體育會

は午前八時代より

秋は朝か

仍費組合對奉天

天

使式庭球戰

消費軍凱歌を揚ぐ

新観響書館襲の一ト 吉田 (六-

撫順岩松氏に榮冠

滿洲青年議會 赤)一米三五 川(白)柳本(黄)

**谷支部の提案** 

長春は軍隊慰問と貿易振興

◆北關夜話◆焼め藤田、

日支露陸競大會開催も提出

新記錄十米六

帯等等質成

たに取り次から次へさ はる職場会は來る十九日是務座で なった、お際は是務地が事務所社 会派で入場料は大人一國、軍人學 生は五十銭であるさ 、本で、大場料は大人一國、軍人學 リ

廿一日から ンデ線會主催、實業新

の運動會の運動會 土路會議は十八日午 ▲傳丸助太郎氏(長春地委訓講長) 十三日過長大連へ 十三日過長大連へ 大連へ旅行中の處歸長 は弦響を休止するさ

群

朝

銀行

大

連

支

日から 長取臨時休業 祭殿なので長鞍取引所

全長庭球選手

施 民で 十九日長春座で 山本師團長

三日十三時四十分長春縣者の 関し新兵舎を巡視し無国

脚氏は十月秋旬出景赴低の東京で 人のために送那髪を離した、四に 大のために送那髪を離した、四に 回転配することとなった形態書配

株式會社大連商業銀 大連取引所錢鈔信託蠶

中 行 大 連 支 店 行

株式 大連取引所信託株式會社 會社 正 大連支店 隆 銀

横濱正金銀行大連支店

銀 行 行

株

會

社

滿

洲

店

通勤家政婦 (解) 中日一圓 (解) 中国一圓

安信會

**釣**東 東作等

六九七番) 金十二種 連マッサージ院 ウ御用命法祭政品持参

東海電影

やからも 洋行 カ新荷着和裏面ワ

商 信 德 社 信 社 法

ホネツギ膊

院醫中

性病

吉野町電話四六二七番

球 ニュトロダイン 東端点付八五個より百五十個迄 南線点付八五個より百五十個迄 一九九、一二一個 一九九、一二一面 一九九、一二一面

やぐらずし

金三拾鉄地 

贫電

赤川氏營口に榮轉

軍人分會評議會

おいて経験會を際能し左記数を設めて経験工人分會にては十三日午 父兄會に寄贈 国房店小 趣校父兄會に對し山口勇氏より令 回在學記念さして金十個な寄贈し 讀者慰安招待

がごく来低の智・
後性には同社京城支屋殿神殿一氏
を歴史通信部に髪板、 野内の監察者も目下それで、 歌中職出学行の手で満洲林橋を南 で開保者が認確を登げたが事職店 林檎南洋輸出 目下協議中 西山 等復興公備寶貝金融 大連案中 古金解白金 不用 品親切力

総動町、地方事務所、瞬、賞 を関するとは、水学校、大正通、演製館所五〇書に申込まれたして、 を関するが、出場チー は合、出場希望の向は二十日まで が、水学校、大正通、演製館所五〇書に申込まれたして を関するが、出場が、大正通、演製館所五〇書に申込まれたして

突勝は機關區軍

房

賑った陸上運動會

乃木會の集

一大三日小學校で一大三日小學校で一大三日小學校で一大三日小學校で一大三日小學校で一大三日小學校で

お店ででは、大学はおり、「一番」

フヨ ウ品配場骨盤 電七四三五イワキ町 新古郷 電七四三五イワキ町 新古郷 電七四三五 イワキ町 新古郷 電七四三五 大暴膝は不正海縁の敗端 である相場は大連案内戦に限る **古銭** 朝鮮泉城笠井町三○笠井枯川朝鮮泉城笠井町三○笠井枯川 

旅館 福一国改築各を一層便利 連音野町六名古岸館電六三一一 連音野町六名古岸館電六三一一 とよす側一報会上 大チク 電ニニ〇六六 

株の他各種植店より三個安綿系下 大連市松林町松林佐橋 小顔三個、大板四個、第〜程効・ 大瀬の優町五七 大瀬の園、第〜程効・ 大瀬の園、第〜程効・ 大瀬の園、第〜程効・ 大瀬の園、第〜程効・ 大道の高町五七

局長が解天へ十三日出費した。 発展で、沈端殿の季事に野崇原副 現作相氏第三子の結婚説質のため

快晴の校庭に

兒童達の大活躍

中谷警務局長は十三月際日に起き中谷警務局長は十三月際日に起き十四日午後三時五十八分紫荷警備・接近歌がた

増した 人出で砂 有の盛味 を呈した切りに大山堂、様潤堂の冬店を

世界 (1 本) (1 本) (2 \*\* (

主任更迭

**貸家** 攝津町二三 A

の製造は横覆堂のマネキン博

責任競技は白軍優勝

◇開原校の運動會◇

庭球各チーム出場し

優勝旗の争奪戰

二十四日滿錢コー

濱江雜姐

或三十五百七千八第

警察官の遭職

を表れてあるさすれば、腕なきにであって、彼等の卵を貼すこさは、 電路道館であって、彼等の卵を貼すこさは、 電路道館

●の歌歌と野歌をである。歌歌音は ・ 本で歌山し得られ、又それが歌歌と野歌の歌歌にもある。歌歌音は ・ 本で歌山し得られ、又それが歌歌にも ・ 大神歌の探除にも ・ 大神歌の探除にも ・ 大神歌の探除にも ・ 大神歌の探除にも ・ 大きで歌歌である。歌歌音は ・ 大きで歌歌を ・ 大きで歌歌を ・ 大きで歌歌を ・ 大きで歌歌を ・ 大きで歌歌を ・ 大きで歌歌を ・ 大きでいる。 ・ 大きで

(A)

862519748

(日曜火)

公會堂の賃貸問題 松田演藝部の承諾で 十三日、圓滿に解決

第一回は十四日午前八時より公會第一回は十四日午前八時より公會では、會長の職會の翻に扱って深い。 女際総業配道院外者優勝換等等既中職隊本派部業配道有股者會も儲の下に「▼権優勝職

本紙二十五周年記念置者総任の職 核六十本である、電話は暫み長されたが銀御職者の監職等號を費 び大和屋駅が底において御機しす。 こつき監職者は書館及び氏名を表されたが銀御職者の監職等はを費 び大和屋駅が底において御機して

昌籤者は六十

本社の大福引に

日程は

仙石總裁日程

榮冠警察A軍に

--安泰線柔劍道段外爭覇戦--

家族な大連に引揚げしめるため近洲の代表不原軍高氏は十三日來哈

支局と大和屋販賣店で賞品引換

本社の大福引に 富籤の福運者 景品引換は來月一

一時や変形の変になった。 一時や変形の変になった。 をにから、他にの変になり、対して、 をにから、他にの変になりました人衆 をにから、他にの変になった。 をにがら、他にのの数で、用度 からとめ、中谷物の局長が破壊 とた午後四時最高瀬の経験であった。 をは、数りも内に変形をいこで、 を主徒の競技は触なされ、 をいぶに禁軍の像跡に帰し、変手。 を生徒の競技は触なされ、 終りを告げた。 終りを告げた。 終りを告げた。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をは、また。 をは、また。 をは、また。 をは、数りを告げた。 をもは、また。 をは、また。 をは、また。 をもば、と、また。 をもば、また。 をは、また。 をもば、また。 をは、また。 邦文 タイピスト短期養成

剣道出場選手

すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。
 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

 すった。

モミ・原治伽語みの方は 薬は ヒシカワ悪鳥 配達 迅速 大山木

電話七八九三番へ

日夜市場通安東美術クラブ高騰を森は繁英のマネキンセールは十二

マネキン嬢

で大脈はひ

石井家畜病 電話五六二六番

西公園町六九 電話八二〇三番

鐵道時間表會議 來月廿日から六日間 

WEBお能数季族航野職大 は十三日午後三時より旅 けって野行、祭チーム

秋期旅順野球大會

資格者さし何れか一方のみ出版を たんさ、耐彩、観道は二級以上の 影影器を終て支部短至急申込まれ

大日本武徳會滿洲支部の本年度武大會(梁、徳、明道)は聚る十月十二日旅殿振武館において開催。常級社員その他全語武道管察順、清級社員その他全語武道管察が数の出版を希望してゐる、出場希望者は本月二十日までに所管

廿日まで

を一個也を分数場式を選べて を一個也を分数場式低記帳等へて を一個也を分数場式低記帳等へて

を満風指の特蔵市場さして辟る四 平衡から一ケ月間どの位の戦物な

少は驚地の概長の一覧を貼る現む 夏季階散耕さはいへ大連郷田の波 ア・カラスを持ちならめてぬるが

曾毗広楼蟾販豊店では歌者が安めた。 松崎 販 賣店で

軍馬炭疽豫防注射

河において野遊會を縦した 作次郎氏が十三日楽階した 紫軍斷然捷 原驛驛友會 各軍の奮闘物凄~ 觀衆熱狂した運動會 石 の獨立守備除司令部一等戦勢佐山 東馬全部に炭疽薬防注射施行のた 原の守備除越に戦撃懲失分遺除の

要実際主能の空電線験地高電場社 で、配質は大人金九十五銭、子供は で、配質は大人金九十五銭、子供は で、配質は大人金九十五銭、子供は で、で、で、大人金九十五銭、子供は で、で、大人金九十五銭、子供は で、で、大人金九十五銭、子供は で、大人金九十五銭、子供は 高麗城趾の 次ぎの日曜に

大和十五大成立十十級名公本人來談談をホテル新業の本人來談談をホテル新業の本人本人成立十十級名公本人本人成立十十級名公本人本人。 

實印 印刷と呱眞

しき乃

高風を景仰

多數婦人も参列して

明照寺の盛儀

真位際を安置し窓場軍司令官の職時から明職寺にて第二次の影傾會時から明職寺にて第二次の影傾會

武德會支部

いる女生

凰城

貧しい お友達

穀物輸出數量

**以**气态

部補、同點白井金右衛長、三一點後廳緣、同

松月獅め翻天第二大監信に整鞭した。 を及前際風電艦を見ると対地代であたが急に膨発入院中で夫人獅めをが急に膨発入最もて十四日であたが急に膨発を最もて十四日であたが急に膨発を最もで十四日であるたが急に膨発を最もである。

東京原店警院事務長に楽地し後任さ して大勝事務員に楽地し後任さ

が派職其他を行び限日共盛する極 奈良家の不幸

が機能がなりさ の検査を施行したが大概において の検査を施行したが大概において 乘用馬車檢查

港日案内

内科性病院



昭 和 , 五. 年 断然群を拔 改 良新型 く見事な出來榮え ブ通の満足 りますから御魔を願 のますから御魔を願 也

> 埼 玉 縣

大阪市長堀橋 綠武 湯淺七左衛門商店關西、滿鮮、發賣元

恒六商會總本店

伊口



折角の 変化者も行の費 からに低下して同戦の資金さへあれば、他地震に五百國、他地震に五百國

改正時間

茶る二十日長衛子解除設を挟に旅

満鐵、大俱とも

學生軍に慘敗

會社の静助金が至戦信金を増戦し なありしな一千國さし、また能地

6 大連俱樂部 3 大連漸鐵

ラグビー

戦の成績

三一一一年生チームの勝利さなる眼珠左の

工事。公司

貸付金や増額

このの。幸・運

0

日淺

他の方々に心苦し

二等當選伊藤剛介さん

農家の出資額引下は

移住農作適任者の希望に添ふ

大連農事が規則改正

が出来るさ

43 0 4 0 14 0 2 0 2 0 8 0 2 0 33 0 20 0 7 0

大廣場で寫す

FB 小林

を見逃して結局三版

味方の危機な

俄然うごと

町ばうず<u>単に於て九月</u>十

改戦々

各位閣下殿

小津木伊國石組大田長佐流盛田内藤原井田澤中谷藤井

青森警察署が

長以下警察を現場に急添する一方。現場に起いたを置大戦し取り歌で北山田名部署。 は存の無知を受くるさ共に直に又を置大戦してぬるので背歌響終製では存。にあつた帝國歌行臨會の安遂中佐接してぬるので背歌響終製では存。にあつた帝國歌行臨會の安遂中佐接してぬるので背歌響終製では存。にあつた帝國歌行臨會の安遂中佐接して、なる前日歌様代が開 タコマ市號の着陸地 要塞地帶に近接、重大視して

滿洲藥學會總會 十四日旅順で開催さる

十分主义。 十分主义。 一十分主义。 一十五名、 本、一十五名、 本、一十五。 本 一十五。 本 一十二。 本 一十 

> 六立一棒 0

ボの球を得てトライ▲二十六分 一退二十分工大敵の二十端ルー 一退二十分工大敵の二十端ルー

女にの

ゼた青年

12月 号

主金を費

が、長銃で自殺

南關嶺辻農園の畑中において

工大江

→大7(6110)6大俱

主として同夜十時ごろ長続を持ち出 ちひごし吃難され悲慨しておれ が、午後一時より裏に會成の職節 時から寄において盛大なる黙粃婆 時から寄において盛大なる黙粃婆

※毛くせ毛のけ毛折毛。 防・車が

四一の金を二百個ほど物院徴撃してる それに依ろさ機乗は銀波遣書の当 である 弦棒にうついた抜かし観光。

青島が好きに

夢のやう

ま、佐藤子を子根、村屋東北氏大の長春丸にて赴京中のソファノ歌 なって・ 千夜子孃歸連

本號も今直ぐお求めを! 大發展大飛躍!!

大發展

煙盤の 中川 存香氏 二等當籤は

氏は焼出さめつて夫人が代っての 上等管鍵さなつた燃整院職保輸係 ・中心

け雲る紅 0 美味しい新米走りが

米穀商 ② 志 摩洋行

尤代代則

身 吸着療法劑







し一層の御引立の程伏して御願ひ申上ますした。尚ほ室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一した。尚ほ室内も時代に適應の改造設備を加へ總で面目を一を対しました必算で御座います 大連市美濃町十五番地(元千勝館跡)

電話を話したいたと

\*\*

I 等う思ふさ、神峰は肥は丁身間

ち、もう大阪へ着いてゐる時に出いたした。 ちれ程、云ってやったのだから たの電報の時間を見るさ、それは、 ま子が、すなほに縁つていったなった。 

かした。

なこさもあるまい――だが、
たんなこさもあるまい――だが、
の言葉の時間を見るさ、それは
この嫉婦女!様はお前の端に二度
ま子が、すなほに縁つていつたな
この嫉婦女!様はお前の端に二度
ま子が、すなほに縁つていつたな
この嫉婦女!様はお前の端に二度
まっち、野のである。
たのだ、それも割へずに……」
だや、大陸へは触らずに、 由端
こ、称峰は、 忠順らず 悲鳴り並
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」
たのだ、それも割へずに……」 つて、その近川を行って、和雄は、また「やうな権赦である。 さ、殿つた。で、和雄は、また「やうな権赦である。

ガム論の如く関脱をなしてある。 西語のがあって、腔門内面は血 をいふのがあり、内がの脱脱になってと、 をいふのがあり、内がの脱脱に強った。 をいふのがあり、内がの脱脱に強った。 をいふのがあり、内がの脱脱に強悪。 なる、指約筋の外にも外投解脱脱。 なる、指約筋の外にも外投解脱脱。 なる、指約筋の外にも外投解脱脱。 なる、指約筋の外にも外投解脱脱。 なる。 

静脈管の膨脹



大学校である。 もて破裂を喰ひ止めんとすること になる。この膨れだしたものが即 になる。この膨れだしたものが即 

炎症惹起の因 便秘の起る謎

で記るか、以下少しくとの帯に並
のに記るか、以下少しくとの帯に並
のに記るた。はらばその他がは如何にし
のである。然らばその他がは如何にし
のである。然らばその他がは如何にし
ない。

かさ、思ふ問もなく、ジョの称が をさ、思ふ問もなく、ジョの称が を入って来た。 はい地脈の謎へ、一般違く你報 はて、日程が戦かに、浮き出てる

滿日柳壇

相談がなかつたさ軍令部承知ゼイン

他の音が聴えた。 小類みな である時、 安周のがに、 小類みな である時、 安周のがに、 小類みな

ないった。 はトランクを下げてお聞を埋へながら、彼はトランクを下げてお聞を埋へながら、彼はトランクを下げてお聞を出て行って。 月根の陰寒が後から迫びかけてぬた。

大変を先にそれから相談し 大速 ソ 大速 ソ 大速 ソ 大連 ソ 大連 ソ 大連 リ 本 2 一年頃の態相談の痛が出来 二次會の相談離もが静ふてゐる 不況時をこっへも語る相談所 大連 自 神主は御神級いかじ相談し が伸ふてゐる 不況時をこっへも語る相談所 大連 章 上 相談が凌んで扇子たいむ音 相談が凌んで扇子たいむ音 相談があれて服义かくれ 間原 離 吉 相談があれて服文かくれ 間原 さ まられて を順 を まるり も を まるりで を 出来 を まるりで を 出来 を まるりで を 出来 を まるりで と と は し でいて に 来るして に 来るして に 来るして に なるして に なると と まるりで ると と まるりで と と は し でいて に なるして に なるして に なるして に なると に なるして を なるして に なる に

たで除つちゃったり。いつ近縁つれて、そっさした。

国域の相談補の中で決め 相談であって女房座をはづら 大連 小 機を住るに数なが相談に類なが相談に動なが相談に類なが相談に要ない相談に類ながり をほごでもない相談に類ながり をほごでもない相談に類ながり をほごでもない相談に類ながり をはごでもない相談に類ながり をはごでもない相談に類ながり をはごでもない相談に対して来るり 相談が要えばなりますなり

が、ようくさ背影を施し

海よりも続い時の自家療法の方が 場よりも続い時の自家療法の方が 場ようしきを得れば順じて重症の を続い時の自家療法の方が 痔の原因と豫防 家庭への衛生常識

一一木真一作

00

, Tangar

先づ知ること

理解を持つことが必要 肛門部の組織について

新日の姓が、神能はまた電響を ておいて、今になってありて、いいましてあった。そして、それは 「戦弱すぎころか、極上げて機 ちっとっなし、あんな時、縦が髪な ち、遊ぶすぎころか、極上げて機 ち、遊ぶすぎころか、極上げて機 ち、遊ぶすぎころか、極上げて機

た。さらして、彼は、ないつさ考した。そのは、今時他は、今時は前返電を打つた。 そんて、それは一

者しや、京子は昨夜の歌の

を得るためには第一に肛門部が如を得るためには第一に肛門部が如ったる機道を確して磨り、共の部分に如何なる變化と離母が趣るととによって等現なるものが鍵性するによって等現なるものが鍵性する。 內外蔣靜脈電 四次 東る原児を研究すれば特別に達べ 特性食物とでは其のカロリー (製) 大型に 歴(のであるから理能解が 変の標準とされる無量) が大いに 対血を起きしめないが起、つまり (気) があら植物性食物とでは其のカロリー (製) が大いに 対血を起きしめないが起、つまり (気) があら植物性食物と変がとなった。 という が、 (変) を (会) という が、 (変) を (会) を (な) を

効能ある食物

手

**卸現 賣金** 

御相談に應じます

**常話六五四四番** 人逐市兒玉町四番地

鑛業所

なる、皮熱に水分が多温されば不 の凝脱を起す、無常な水分を凝し することが便調を燃料し便粉を強 することが便調を燃料し便粉を強 することが便調を燃料し便粉を強 があることは改めて言ふ 氣候と病勢亢進

要するに特殊は選出時に対ける治 がよいよべきである。 特にはない。 大学が訪れると既に得笑の苦 がなりて来るのは不用意の間に 対験を冷すことが成をなずもので あるから、とれからは脳帯が物がある。

元贵致

色の白くない方の白粉 ▲色の白くないのが自然にかくれ・・ ▲上品にそして清新な……………… ▲生れつき色が白いやうな白さに… 本落附いた美しい あぶら性の方一年ばいの方にも一 お化粧が出來ます

愛し子様の為に 本翩麒小 實地に敷へてあげて下さいのない様に、愛し子様の写 個の因で、御親子共に憂鬱な日をお送りにならな い方がございますが、それはやがてお子様の歯の い方がございますが、それはやがてお子様の歯の 子供にみシ歯は附き物だと輕く視て、これが 新世報に「雪の郷障させてから接る母性愛」 歌ふのがありますが、昭和時代に ればならない様になり 様に、愛し子様の為めに弦に掲げた事情を 少くとも年に一国以上、歯の健康診断を 毎食後や、あまい物を召上った時には、 食事の際には、よく物を晒む事。 必ずライオン問題で響を動く事。 ムシ網を防ぐ気に軽は勿論、夜簾る前に 林商店 どうかさう云ふ事

也 小倉厚司。 山本洋海

三馬力半より

拾五馬力迄各種

が大、世主風呂崎 れもみ共能操権手足の領も個方は に個米堂下をい ハリ会マッサージカムギイ 大連市美権町二五個六六八へ 日本式解除天育町大連出版

國際運輸輸出大連支店 大阪商船鄉武大連支

中前九時出帆 | 唐山丸 九月公日 中前九時出帆 | 唐山丸 九月公日 

めぶら性の方に肌色美顔粉白粉

方 方 十 二 日 日 日 日 日

接三郎 河海丸 九八十九日

大阪商船縣武大連支店